

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成26年1月30日(2014.1.30)

【公開番号】特開2012-135938(P2012-135938A)

【公開日】平成24年7月19日(2012.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2012-028

【出願番号】特願2010-289497(P2010-289497)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月10日(2013.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

環状に形成された側壁の一端に開口部を有するとともに他端に底部を有する有底箱形状のキャップを有するキャッピング装置であって、

前記底部には、

前記開口部から流入した液体を排出する廃液口と、

前記廃液口と少なくとも一部が前記開口部側から見たとき平面的に重なる位置に、前記側壁における対向する2つの壁面間を繋ぐように延設されたリブと、が形成され、

前記リブには、当該リブの延設方向と交差する幅方向に貫通するとともに前記廃液口と連通する連通孔が設けられていることを特徴とするキャッピング装置。

【請求項2】

請求項1に記載のキャッピング装置において、

前記廃液口は、少なくとも前記リブの幅方向寸法より大きい、または、同じ口径寸法を有することを特徴とするキャッピング装置。

【請求項3】

請求項1または2に記載のキャッピング装置において、

前記キャップ内に収容されるとともに、前記リブに対応する位置において、スリットが切り込み形成されている液体吸収体を備え、

前記スリットは、当該スリットの幅寸法が前記リブの幅寸法以下で設けられていることを特徴とするキャッピング装置。

【請求項4】

請求項3に記載のキャッピング装置において、

前記液体吸収体は、

前記スリットにおける切り込み開始側の端部に、三角形状にカットされたカット形状部が設けられていることを特徴とするキャッピング装置。

【請求項5】

請求項3または4に記載のキャッピング装置において、

前記液体吸収体は、

前記スリットにおける切り込み終了側の端部に、前記リブの幅寸法以上の幅寸法を有する矩形のカット形状部が設けられていることを特徴とするキャッピング装置。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のいずれか一項に記載のキャッピング装置において、

前記底部は、前記開口部から最も遠い部位を有する第 2 底部と、該第 2 底部よりは前記開口部に近い部位で形成された第 1 底部とによって構成され、

前記リブは、前記第 2 底部における前記開口部から最も遠い部位に形成されていることを特徴とするキャッピング装置。

【請求項 7】

媒体に液体を噴射する液体噴射ヘッドと、

請求項 1 ないし 6 のいずれか一項に記載のキャッピング装置と、
を備えたことを特徴とする液体噴射装置。